

平成21年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

水田・転作科(岩見沢市)

I 気象概況

7月下旬：平均気温は平年より1.0℃低く、降水量は平年の97%、日照時間は平年の37%であり、低温、寡照に経過した。

8月上旬：平均気温は平年より0.8℃低く、降水量は平年の3%、日照時間は平年の124%であり、少雨、多照に経過した。

8月中旬：平均気温は平年より0.2℃低く、降水量は平年の62%、日照時間は平年の56%であり、少雨、寡照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.7℃低く、降水量は平年の53%、日照時間は平年の71%であり、少雨、寡照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	24.0	25.4	△ 1.4	26.8	26.9	△ 0.1	25.3	26.2	△ 0.9	25.3	26.1	△ 0.8
最低気温(℃)	17.0	17.7	△ 0.7	17.7	19.1	△ 1.4	18.5	17.9	0.6	17.7	18.2	△ 0.5
平均気温(℃)	20.5	21.5	△ 1.0	22.2	23.0	△ 0.8	21.9	22.1	△ 0.2	21.5	22.2	△ 0.7
降水量(mm)	48.5	50.2	△ 1.7	1.5	49.7	△ 48.2	16.5	26.6	△ 10.1	66.5	126.5	△ 60.0
日照時間(hr)	21.3	57.5	△ 36.2	68.3	55.2	13.1	33.4	59.4	△ 26.0	123.0	172.1	△ 49.1

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成11～20年の10ヶ年平均値を農試が算出し、使用。

平均気温は、各日最高・最低気温の平均値を用いた。

表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作 況

5月20日 平年並

事由:播種は平年より1日早い4月17日に行った。播種後4月下旬は低温に経過し、出芽まで7日を要し、その後の生育も遅れた。5月上旬は高温に経過し、苗の生育が進み、遅れを取り戻した。移植は平年より2日早い5月19日に行った。

移植時における苗は、茎数と主稈葉数が「きらら397」、「ほしのゆめ」ともにほぼ平年並であった。また、草丈は「きらら397」で1.5cm、「ほしのゆめ」で0.3cm平年より長く、乾物重はそれぞれ15%、10%平年を上回ったが、苗質はほぼ平年並みであった。

以上により、5月20日時点の作況は、平年並である。

6月20日 平年並

事由:活着および移植後の生育は順調であったが、6月の日照不足と6月中旬の低温により、生育は停滞した。6月20日における草丈は、「きらら397」で平年の102%、「ほしのゆめ」で平年の106%で平年並から平年をやや上回った。茎数は「きらら397」で平年の95%、「ほしのゆめ」で平年の110%と、平均ではほぼ平年並であった。また、主稈葉数も「きらら397」、「ほしのゆめ」ともにほぼ平年並であった。

以上により、6月20日時点の作況は平年並である。

7月20日作況 平年並

事由:6月下旬は平年より気温が高く、日照時間も多かったため生育は進んだ。しかし、7月上中旬の日照不足と7月中旬の低温により生育は停滞した。幼穂形成期は、「きらら397」で平年より1日遅れ、「ほしのゆめ」で平年並であった。7月20日における草丈は、「きらら397」で平年の103%、「ほしのゆめ」で平年の105%で平年並から平年をやや上回った。茎数は「きらら397」で平年の97%、「ほしのゆめ」で平年の104%とほぼ平年並であった。また、主稈葉数も「きらら397」、「ほしのゆめ」ともにほぼ平年並であった。

以上、7月20日時点の作況は、平年並である。

8月20日作況 やや不良

事由:7月下旬は平年より気温が低く日照時間も少なく、8月上旬でのみ日照時間が確保できたが、生育は停滞した。すなわち、止葉始は、「きらら397」で平年より2日遅れ、「ほしのゆめ」で1日遅れで、また出穂期は、「きらら397」で平年より4日遅れ、「ほしのゆめ」で2日遅れであった。稈長は、「きらら397」で108%、「ほしのゆめ」で106%と平年より長かった。穂長は「きらら397」で98%、「ほしのゆめ」で99%であった。また、穂数は「きらら397」で平年比101%、「ほしのゆめ」で103%でほぼ平年並であった。このように、m²当たり籾数は平年並みであるが、穂ばらみ期が低温に経過したため、不稔の発生が懸念される。

以上により、8月20日時点の作況は、やや不良である。

品種名 項目 \ 年次		きらら397 中苗			ほしのゆめ 中苗			ななつぼし 中苗(参考)		ゆめびりか 中苗(参考)
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	(前3ヶ年)	本年
播種期	(月.日)	4.17	4.18	△ 1	4.17	4.18	△ 1	4.17	4.18	4.17
移植期	(月.日)	5.19	5.21	△ 2	5.19	5.21	△ 2	5.19	5.21	5.19
幼穂形成期	(月.日)	7.08	7.07	1	7.06	7.06	0	7.05	7.05	7.07
止葉始	(月.日)	7.25	7.23	2	7.22	7.21	1	7.21	7.19	7.23
出穂期	(月.日)	8.08	8.04	4	8.06	8.04	2	8.04	8.04	8.06
成熟期	(月.日)		9.20			9.20			9.20	
穂揃日数	(日)	6.0	5.8	0.2	6.5	6.4	0.1	7.0	6.3	6.5
出穂まで日数	(日)	113	108	5	111	108	3	109	108	111
生育日数	(日)		155			155			155	
移植時地上部乾物重(g/100本)		2.36	2.05	0.31	2.40	2.18	0.22	2.64	2.20	2.60
草丈 (cm)	移植時	10.9	9.4	1.5	10.4	10.1	0.3	11.6	9.7	10.9
	6月20日	24.0	23.5	0.5	26.6	25.1	1.5	25.5	25.0	26.8
	7月20日	57.4	55.6	1.8	60.8	57.8	3.0	63.3	63.3	63.6
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.1	△ 0.1	1.1	1.1	0.0	1.0	1.0	1.1
	6月20日	340	359	△ 19	383	349	34	315	315	378
	7月20日	878	906	△ 28	958	923	35	835	845	968
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.4	3.2	0.2	3.3	3.1	0.2	3.2	3.1	3.5
	6月20日	6.8	6.9	△ 0.1	6.4	6.5	△ 0.1	6.4	6.7	6.7
	7月20日	10.7	10.6	0.1	10.0	9.9	0.1	10.2	10.4	10.5
	止葉	11.3	11.2	0.1	10.3	10.3	0.0	10.3	10.6	10.9
稈長	(cm)	68.5	63.5	5.0	71.3	67.1	4.2	73.5	68.2	73.5
穂長	(cm)	16.0	16.4	△ 0.4	15.2	15.4	△ 0.2	16.2	16.8	17.0
穂数	(本/m ²)	750	742	8	818	798	20	723	736	765
一穂粒数	(粒)		48.1			43.4			56.2	
m ² 当粒数	(百粒)		357			346			414	
稔実歩合	(%)		83.0			86.4			82.5	
登熟歩合	(%)		73.9			76.7			74.0	
糲摺歩合	(%)		75.0			69.4			74.4	
屑米歩合	(%)		9.7			16.5			11.1	
千粒重	(g)		22.6			21.3			21.4	
わら重	(kg/a)		67.4			70.2			76.6	
精糲重	(kg/a)		73.5			72.8			75.5	
精玄米重	(kg/a)		55.1			50.6			56.3	
収量平年対比	(%)		100			100		-	100	-
検査等級			2上	-		1下	-		1下	

注1)「きらら397」の平年値は前7ヶ年中、平成20年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2)「ほしのゆめ」の平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注3)平成18年より「ななつぼし」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注4)平成21年より「ゆめびりか」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注5)耕種概要

土 壤 : 細粒グライ土

施 肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1.5t/10a

播 種 量 : 中苗紙筒=180cc/箱 栽 植 密 : 30×13.3cm 25株/m² 4本植え

移植方法 : 手植え 反 復 : 2

注6)刈り取り面積は一区3.6m²、精糲重、精玄米重は水分15%換算値を、篩目は1.9mmを使用した。

畑作の部

畑作科(長沼町)

I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より1.4℃低く、降水量は平年の120%、日照時間は平年の35%であり、低温、多雨、寡照に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より1.4℃低く、降水量は平年の9%、日照時間は平年の128%であり、低温、少雨、多照に経過した。

8月中旬:平均気温は平年より0.7℃低く、降水量は平年の74%、日照時間は平年の44%であり、少雨、寡照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より1.2℃低く、降水量は平年の64%、日照時間は平年の68%であり、低温、少雨、寡照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	23.3	25.3	△2.0	26.1	26.7	△0.6	24.5	26.1	△1.6	24.6	26.0	△1.4
最低気温(℃)	16.5	17.0	△0.5	17.3	18.6	△1.3	18.0	17.4	0.6	17.2	17.6	△0.4
平均気温(℃)	19.2	20.6	△1.4	20.7	22.1	△1.4	20.6	21.3	△0.7	20.1	21.3	△1.2
降水量(mm)	59.0	49.0	10.0	5.0	54.2	△49.2	20.0	27.2	△7.2	84.0	130.4	△46.4
降水日数(日)	6.0	3.6	2.4	1.0	2.9	△1.9	4.0	2.5	1.5	11.0	9.0	2.0
日照時間(hr)	17.4	49.9	△32.5	60.9	47.4	13.5	23.2	52.9	△29.7	101.5	150.2	△48.7

注1) 本年から気象データを「マメダス中央農試本場」に移行。欠測値および明らかな異常値はアメ

注2) 平年値は過去10年間の平均値。ただし、平成11年と平成12年はアメダス長沼のデータを使

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算

注4) △は減を示す。

1. 秋まき小麦(平成20年播種)

平成20年

9月20日：平年並

事由：播種は9月18日で平年値より3～5日遅いが、安定した越冬のために必要な主茎葉数6葉以上を確保するためには問題が無い播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

10月20日：やや不良

事由：播種後9月下旬は低温、少雨傾向に推移し、出芽期は播種期の遅れを上回る平年比5～7日遅れとなった。10月上旬まで低温傾向が続き、10月20日現在で草丈及び茎数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成21年

5月20日：平年並

事由：播種期、出芽期は平年より3～7日遅く、越冬前の茎数は平年より少なかったものの1100本/m²以上を確保できた。根雪終は平年より12日早い3月23日で、雪腐病による冬損は平年並かやや少なく、越冬後の4月上旬の茎数は2000本/m²を超えた。4月上～中旬は好天に推移し、生育は順調に進み、4月下旬に低温の時期はあったものの5月は総じて好天に推移している。5月20日現在で草丈は平年より大きく、茎数は生育の進展により分けつ茎の減少が早まったため平年並か少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日：平年並

事由：6月中旬の低温のため生育の進展はやや緩慢となっているが、これまでの生育が早かったため、出穂期は平年と比べて3～5日日早まった。草丈は平年を7～9cm上まわっているがやや軟弱である。茎数は「ホクシン」が多い。「ホロシリコムギ」の茎数は少ないが、生育が早まっていることによる茎数減であり、平年並の穂数は確保できると見込まれる。「ホクシン」で赤さび病の発生が多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日：平年並

事由：7月上旬以降の多雨に加え強風もあり、両品種とも倒伏が多くなった。7月中旬の低温のため登熟の進展は緩慢で、「ホクシン」で平年より1日遅い成熟期となり、「ホロシリコムギ」は成熟期に達していない。両品種とも出穂期が早かったことから、登熟期間は平年より長く確保できる見込みである。

稈長は平年並、穂長は「ホクシン」でやや短く、「ホロシリコムギ」ではほぼ平年並であった。穂数は「ホクシン」は平年並だが「ホロシリコムギ」では少なかった。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日：不良

事由：7月中～下旬が低温多雨に経過したが、成熟期はほぼ平年並となった。子実重はやや早生の「ホクシン」で平年比78%、中生の「ホロシリコムギ」では92%といずれも低収となった。「ホクシン」ではリットル重、千粒重とも平年より低く、「ホロシリコムギ」でもリットル重は低かった。7月上旬からの強度の倒伏と多雨が重なり登熟に影響したものと見られ、また雨害による品質低下も懸念される。

以上から、現在の作況は不良である。

項目	品種名 年次	ホクシン			ホロシリコムギ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H20.月.日)	9.18	9.15	3	9.18	9.13	5
出芽期	(H20.月.日)	9.26	9.21	5	9.26	9.19	7
出穂期	(H21.月.日)	6.02	6.05	△ 3	6.06	6.11	△ 5
成熟期	(H21.月.日)	7.19	7.18	1	7.25	7.25	0
冬損程度	(0:無~5:甚)	1.4	1.4	0.0	0.8	1.3	△ 0.5
草丈 (cm)	H20.10.20	17.0	21.2	△ 4.2	17.3	26.2	△ 8.9
	H21.5.20	56.6	53.1	3.5	59.0	52.0	7.0
	H21.6.20	107.4	98.0	9.4	113.4	106.2	7.2
茎数 (本/m ²)	H20.10.20	664	857	△ 193	548	1050	△ 502
	越冬前(11月)	1129	1428	△ 299	1120	1540	△ 420
	越冬後(4月)	2113	1556	557	2028	1688	340
	H21.5.20	1179	1167	12	1083	1359	△ 276
	H21.6.20	737	682	55	661	749	△ 88
成熟期における	稈長 (cm)	93	91	2	102	103	△ 1
	穂長 (cm)	8.7	9.2	△ 0.5	9.0	8.7	0.3
	穂数(本/m ²)	644	642	2	522	664	△ 142
倒伏程度	(0:無~5:甚)	3.3	1.6	1.7	3.5	3.1	0.4
子実重	(kg/10a)	500	642	△ 142	546	593	△ 47
リットル重	(g)	784	804	△ 20	779	789	△ 10
千粒重	(g)	36.4	37.9	△ 1.5	42.9	42.6	0.3
品質	(等級)		2等			2等	
子実重平年対比	(%)	78	100	△ 22	92	100	△ 8

注1) 平年値は前7か年中、最凶(ホクシンH18、ホロシリH14)、最豊(ホクシンH15、ホロシリH20)を除く5か年平均(収穫年度)。

注2) △は平年より早、短、少を表す。(※以降の作物においても同様)

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

2. 春まき小麦

5月20日：平年並

事由：根雪終は平年より9日早い3月21日（融雪剤使用圃場）であった。播種期は平年より2日早い4月13日であった。播種後の気温が低めに推移したため出芽までの日数は長くなり、出芽期は平年より1日遅い4月28日であった。出芽期後は気温が平年並から高めに推移したため、生育は順調である。両品種とも、草丈は概ね平年並で、分げつの発生がやや早いため茎数は両品種とも平年より多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日：やや不良

事由：前節に続いて、6月上旬までの気温が平年並からやや高めに推移したため生育は進んだが、6月中旬が低温となり日照時間も少なかったため、その後の生育は緩慢となった。出穂期は平年並から1日早く、草丈は平年並であるが、茎数が平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日：やや不良

事由：稈長および穂長は平年をやや下回り、穂数は平年並である。なお、開花期間にあたる6月下旬～7月上旬がやや高温多湿に推移したため、赤かび病の発生が目立っており、子実充実への影響が懸念される。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日：不良

事由：成熟期は平年並から1日遅れた。穂長がやや短かったことに加え、赤かび病が多発したため、一穂粒数は平年を下回った。さらに登熟期間にあたる7月の降水量が多く、日照時間も少なかったため、子実の充実が不良となり、千粒重およびリットル重は平年を大きく下回った。このため、子実重は平年比64～71%と平年を大きく下回った。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名		ハルユタカ			春よ恋		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.13	4.15	△ 2	4.13	4.15	△ 2
出芽期	(月.日)	4.28	4.27	1	4.28	4.27	1
出穂期	(月.日)	6.19	6.19	0	6.18	6.19	△ 1
成熟期	(月.日)	8.02	8.01	1	8.01	8.01	0
草丈	5月20日	22.6	21.6	1.0	20.8	21.7	△ 0.9
(cm)	6月20日	79	79	0	83	82	1
茎数	5月20日	693	636	57	750	690	60
(本/m ²)	6月20日	571	726	△ 155	649	714	△ 65
7月20日	稈長 (cm)	87	89	△ 2	94	96	△ 2
または	穂長 (cm)	8.2	8.5	△ 0.3	8.2	8.5	△ 0.3
成熟期	の 穂数 (本/m ²)	472	466	6	492	500	△ 8
子実重	(kg/10a)	316	492	△ 176	401	567	△ 166
一穂粒数	(粒)	28.5	31.9	△ 3.4	29.4	35.5	△ 6.1
千粒重	(g)	32.8	41.9	△ 9.1	35.6	43.5	△ 7.9
リットル重	(g)	764	815	△ 51	785	824	△ 39
品質	(等級)	2上			2上		
子実重平年対比	(%)	64	100	△ 36	71	100	△ 29

注) 平年値は前7カ年中、最豊(平成14年)、最凶(平成18年)を除く5カ年平均。

一穂粒数は、各反復で有効穂を50穂調査。リットル重は1リットル升による測定。

3. ばれいしょ

5月20日：平年並

事由：本年は根雪終が平年より12日早く、その後4月下旬は低温に推移したものの、植付期は平年より1日早い5月1日となった。植付後も総じて好天に推移しているが、5月20日現在で萌芽期には至っていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日：平年並

事由：植付期は平年より1日早く、5月上～中旬の気温も比較的高かったため萌芽期も平年並となった。萌芽後の生育も順調で、6月20日時点の茎長は平年より長く、茎数は少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日：平年並

事由：7月上旬からの多雨、加えて中旬からの低温により生育の進展は緩慢となっている。平年と比べて開花始は平年より2日遅く、茎長は長く、茎数はやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日：不良

事由：7月中～下旬は低温多雨に経過し、緩慢な生育であったが、8月2半旬以降最高気温が高く推移し、枯凋期は平年より3日早まった。上いも平均一個重は平年よりやや大きいものの、株当たりの上いも数は少なく、上いも重は平年を11%、中以上いも重で7%それぞれ下回った。また、でん粉価はほぼ平年並みであった。

以上により、本年の作況は不良である。

品種名		男爵薯		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	5.01	5.02	△ 1
萌芽期	(月.日)	5.25	5.25	0
開花始	(月.日)	6.24	6.22	2
枯凋期	(月.日)	8.18	8.21	△ 3
茎長	6月20日	40	32	8
(cm)	7月20日	47	42	5
茎数	6月20日	3.7	5.1	△ 1.4
(本/株)	7月20日	4.4	4.7	△ 0.3
8月20日における				
上いも数	(個/株)	11.4	13.6	△ 2.2
上いも平均一個重	(g)	84	79	5
上いも重	(kg/10a)	4261	4755	△ 494
でん粉価	(%)	15.2	14.9	0.3
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	11.4	13.7	△ 2.3
上いも平均一個重	(g)	84	79	5
上いも重	(kg/10a)	4261	4774	△ 513
中以上いも重	(kg/10a)	3573	3833	△ 260
でん粉価	(%)	15.2	15.0	0.2
上いも重平年対比	(%)	89	100	△ 11
中以上いも重	〃 (%)	93	100	△ 7
でん粉価	〃 (%)	101	100	1

注) 平年値は前7か年中、平成18年(最凶)、19年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g/個以上、「中以上いも」は61g/個以上。

4. 大豆

6月20日：やや不良

事由：播種期は平年より3日早い5月19日で、出芽期は平年並からやや早かった。6月中旬が低温・寡照に経過し、各品種とも主茎節数は平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日：平年並

事由：6月下旬の高温により、6月中旬までの生育の遅れはやや回復傾向にあり、主茎長は平年より短い、主茎節数は平年並からやや多かった。また、分枝数は「ユウヅル」でやや少ないが「スズマル」および「ツルムスメ」でやや多かった。開花期は「ツルムスメ」で平年より3日早く、「トヨムスメ」は平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日：平年並

事由：開花期は平年並から3日早かった。6月中旬までの生育の遅れおよび7月中旬～下旬にかけての低温の影響により主茎長は各品種とも平年より短く、また「ユウヅル」では主茎節数が、「スズマル」では分枝数が少ない。一方、着莢数は「ツルムスメ」で平年より少ないものの、「ユウヅル」および「トヨムスメ」では多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名		ツルムスメ			ユウヅル			トヨムスメ			スズマル		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	6.01	6.02	△ 1	6.01	6.02	△ 1	6.01	6.02	△ 1	6.01	6.01	0
開花期	(月.日)	7.19	7.22	△ 3	7.30	7.31	△ 1	7.18	7.18	0	7.25	7.27	△ 2
成熟期	(月.日)		10.01			10.18			9.27			10.01	
主茎長 (cm)	6月20日	8.5	8.8	△ 0.3	9.4	8.9	0.5	8.8	10.1	△ 1.3	7.8	7.8	0.0
	7月20日	43.4	45.4	△ 2.0	39.5	41.5	△ 2.0	41.9	47.7	△ 5.8	34.9	37.1	△ 2.2
	8月20日	54.2	60.0	△ 5.8	76.2	87.5	△ 11.3	57.1	60.3	△ 3.2	67.1	72.0	△ 4.9
	9月20日		60.1			88.1			61.3			72.6	
	成熟期		59.7			88.2			61.1			73.7	
主茎節数 (節)	6月20日	2.6	3.4	△ 0.8	2.5	3.4	△ 0.9	2.5	3.1	△ 0.6	2.3	3.3	△ 1.0
	7月20日	11.5	10.9	0.6	11.7	10.5	1.2	10.0	9.5	0.5	11.5	10.6	0.9
	8月20日	11.9	12.6	△ 0.7	14.5	16.1	△ 1.6	10.1	10.4	△ 0.3	14.1	14.6	△ 0.5
	9月20日		12.5			15.9			10.2			14.5	
	成熟期		12.4			16.1			10.3			14.3	
分枝数 (本/株)	7月20日	6.8	6.1	0.7	4.2	4.5	△ 0.3	5.7	5.8	△ 0.1	8.3	7.7	0.6
	8月20日	5.9	6.7	△ 0.8	4.7	4.7	0.0	5.8	6.4	△ 0.6	9.5	11.7	△ 2.2
	9月20日		6.7			4.6			6.7			11.4	
	成熟期		6.9			3.7			6.4			10.0	
着莢数 (莢/株)	8月20日	48.6	55.3	△ 6.7	50.5	39.3	11.2	77.2	68.6	8.6	144.8	143.3	1.5
	9月20日		51.9			52.3			62.2			119.2	
	成熟期		52.1			51.9			62.9			119.1	
一莢内粒数		1.74			1.75			1.81			2.36		
子実重 (kg/10a)		341			324			374			327		
百粒重 (g)		47.7			43.8			40.3			15.0		
屑粒率 (%)		2.2			4.1			1.6			1.8		
品質 (等級)		3上			3下			3中			2中		
子実重平年対比 (%)		100			100			100			100		

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

5. 小豆

6月20日

作況：やや不良

事由：播種期は平年並の5月27日であった。播種後に適度な降雨に恵まれたため出芽は順調で、出芽期は平年より2日遅い6月12日であった。6月に入ってから日照時数が少なく、6月中旬は低温に経過したため、生育はやや停滞した。主茎長は平年より1.5cm短く、主茎節数も0.6節少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日

作況：やや不良

事由：6月下旬は高温・多照であったが、7月は降雨が多く、さらに上旬が寡照、中旬が低温に経過したことから、主茎節数は平年並であったが、主茎長、分枝数はいずれも平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日

作況：やや不良

事由：開花期は平年より2日遅く、8月中旬に入り曇天が多かったため生育は遅れている。現在のところ、主茎長は平年より4cm長かったが、主茎節数および分枝数は平年を下回っている。着莢数も平年の85%と少なかったが、現時点でも開花が認められ、生育の進捗により着莢数の増加が予想される。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名		エリモショウズ		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.27	5.26	1
出芽期	(月.日)	6.12	6.10	2
開花期	(月.日)	7.27	7.25	2
成熟期	(月.日)		9.09	
主茎長 (cm)	6月20日	2.7	4.2	△ 1.5
	7月20日	17.2	19.7	△ 2.5
	8月20日	69.0	65.0	4.0
	成熟期		66.6	
主茎節数 (節)	6月20日	1.0	1.6	△ 0.6
	7月20日	8.8	8.4	0.4
	8月20日	12.5	13.0	△ 0.5
	成熟期		13.1	
分枝数 (本/株)	7月20日	2.6	4.0	△ 1.4
	8月20日	3.2	5.0	△ 1.8
	成熟期		4.3	
着莢数 (莢/株)	8月20日	50.8	60.0	△ 9.2
	成熟期		54.3	
一莢内粒数			6.10	
子実重	(kg/10a)		341	
百粒重	(g)		13.1	
屑粒率	(g)		3.3	
品質	(等級)		3上	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成15年(最豊)、平成18年(最凶)を除く5カ年

注2) 子実重および百粒重は子実水分15%に補正後の数値。